

# 決算補足説明資料 2020年度 通期 業績概要

#### 注意事項

- 当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および 資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準(以下「IFRS」) を任意適用しております。また、2020年度よりセグメント区分の見直しなども行っています。 これにより2019年度の数値は、これらの変更影響を加味した上で算出しています。(P.26参照)
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、 合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この 見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域 を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などが あります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間:2020年3月1日~2021年2月28日)

© 2021 YASKAWA Electric Corporation

# 1. 2020年度 通期 連結業績

- 2020年度 通期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 仕向先別売上収益 , 構成比
- 営業利益増減要因分析
- ◆ 2020年度4Qから現時点における取り組み

# 2. 中期経営計画の進捗・見直し

- ●「Challenge 25」 遂行状況, 成果と課題
- ●「Challenge 25 Plus」 概要, 基本方針

# 3. 2021年度 通期 連結業績見通し

- 2021年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2021年度における取り組み
- 株主還元(配当金推移)

## 4. 参考資料

- IFRS・セケーメント変更による過年度の組替表示
- 設備投資・研究開発費,為替レート,感応度
- B/S構造の推移
- 連結売上収益·営業利益推移
- 四半期連結売上収益推移
- 四半期連結受注推移
- グローバル生産拠点

## セグメント別事業概要

#### モーションコントロール

#### 【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ

・PMモータ

など





#### ロボット

#### 【主要製品】

- ・産業用ロボット
- アーク・スポット溶接・塗装用途向け
- FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・半導体製造装置用ロボット
- バイオメディカル用途向けロボット
- 人協働ロボット

など



### システムエンジニアリング

#### 【主要製品】

- ·大型風力発電用電機品
- ・太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・上下水道用電気計装システム
- ・鉄鋼プラント用電機システム

など



発電機とコンバータ



上下水道用 電気計装システム



太陽光発電用 パワーコンディショナ XGI1500 150kW



鉄鋼プラント用 電機システム

#### その他

物流サービス

など

# **YASKAWA**

# 1.2020年度 通期 連結業績

## 2020年度 通期実績(連結)

# ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け減収も、 経費削減の徹底により収益性は改善し増益

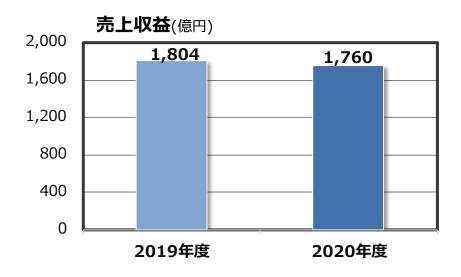
	2020年度	2019年度	前年度	走比
	実績	実績	増減額	増減率
売上収益	3,897億円	4,110億円	▲212億円	<b>▲5.2%</b>
営業利益	272億円	242億円	+30億円	+12.3%
税引前利益	272億円	246億円	+25億円	+10.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	189億円	156億円	+34億円	+21.5%

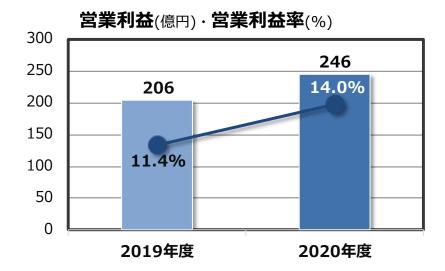
# 2020年度 通期実績(セグメント別)

- ・モーションコントロール、ロボットは減収ながらも増益
- ・システムエンジニアリングは一時的なコストの引き当てにより減益

		2020年度		2019年度		前年度比	
	(単位:億円)	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上	収 益	3,897		4,110		▲212	<b>▲5.2</b> %
	モーションコントロール	1,760		1,804		<b>▲</b> 44	▲2.5%
	ロボット	1,395		1,522		<b>▲127</b>	<b>▲8.3</b> %
	システムエンジニアリング	508		555		<b>▲</b> 48	▲8.6%
	その他	234		228		+6	+2.8%
営業	利益	272	7.0%	242	5.9%	+30	+12.3%
	モーションコントロール	246	14.0%	206	11.4%	+40	+19.6%
	ロボット	69	5.0%	65	4.3%	+4	+6.2%
	システムエンジニアリング	▲10	▲2.0%	5	0.8%	<b>▲15</b>	_
	その他	3	1.3%	▲0	▲0.1%	+3	-
	消去または全社	<b>▲</b> 36	-	<b>▲</b> 33	-	<b>▲</b> 3	-

# 主要事業の概要\_モーションコントロール





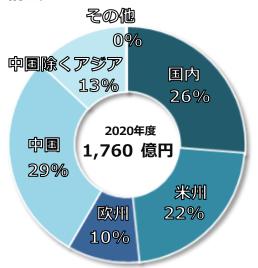
#### 【売上収益】

- ACサーボは、中国のニューインフラ関連やグローバルにおけるスマートフォン向けなどの半導体・電子部品関連の販売が堅調
- インバータは、期末にかけて受注は回復基調にあるものの 米国のオイル・ガス関連需要が通期で大きく落ち込み、 売上は減少

#### 【営業利益】

中国での売上伸長に伴う収益性の改善や、経費抑制の 効果などにより営業利益は増加

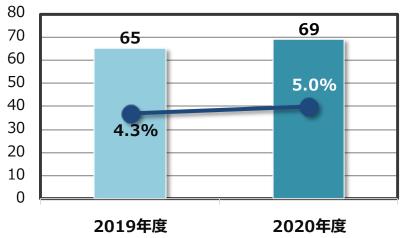
#### 仕向先別売上収益構成比



# 主要事業の概要\_ロボット



#### 営業利益(億円) · 営業利益率(%)



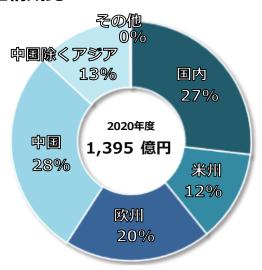
#### 【売上収益】

- 自動車市場においては、期末にかけてグローバルで 設備投資が回復も、上期に新型コロナウイルスの影響を 大きく受け、売上は伸び悩む
- 一般産業分野では、中国を中心に自動化ニーズの拡大を 背景とした設備投資の動きがみられた
- 半導体ロボットの販売は堅調に推移

#### 【営業利益】

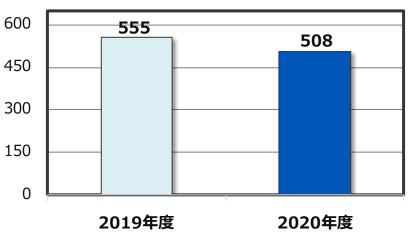
• 自動車市場の回復や経費抑制効果により、営業利益は増加

#### 仕向先別売上収益構成比

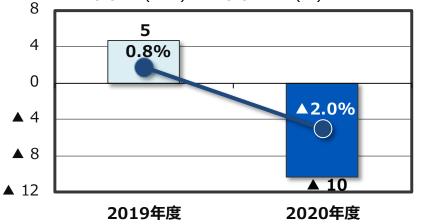


# 主要事業の概要 システムエンジニアリング





#### 営業利益(億円) · 営業利益率(%)



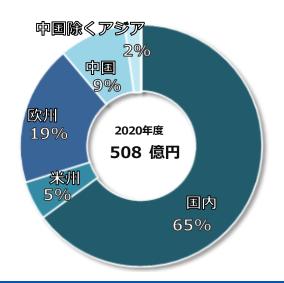
#### 【売上収益】

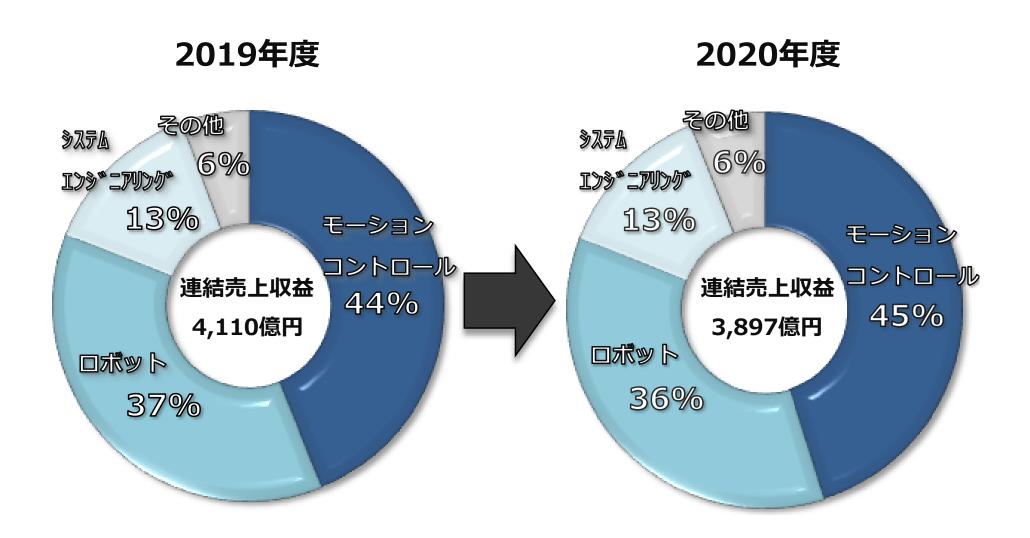
- 太陽光発電用パワーコンディショナの販売が伸び悩んだ 一方、大型風力発電用電機品および上下水道用電気 システム関連の売上は堅調に推移
- 鉄鋼プラント関連は、国内での設備投資延期の影響を受け 売上が伸び悩む

#### 【営業利益】

• 構造改革を進めるも、一時的な製品改修コストの引き当て を行い、営業利益は減少

#### 仕向先別売上収益構成比



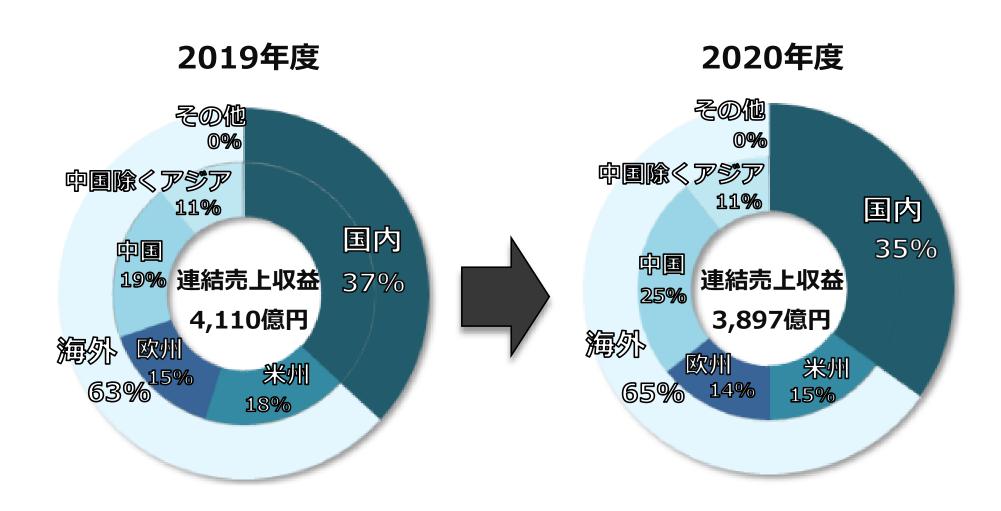


# 仕向先別売上収益(2019年度 → 2020年度)

# ・中国は前年度比で大幅に増加

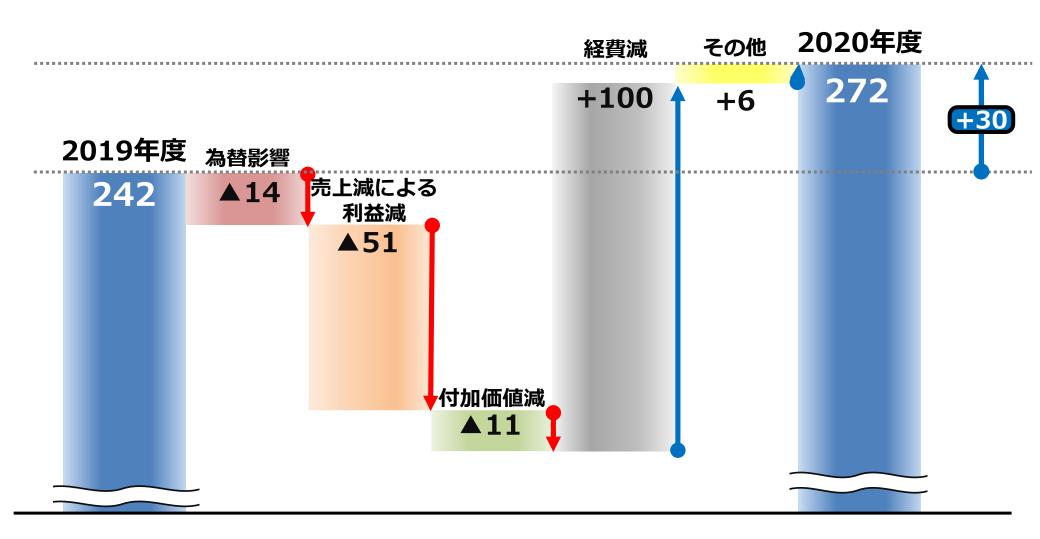
	2020年度	2019年度	前年度比	
(単位:億円	•	2013十/支	増減額	増減率
売上収益	3,897	4,110	▲212	<b>▲5.2</b> %
国内	1,359	1,515	<b>▲15</b> 6	▲10.3%
海外	2,538	2,595	<b>▲57</b>	▲2.2%
米州	589	739	<b>▲150</b>	▲20.3%
欧州	548	613	<b>▲65</b>	<b>▲10.5</b> %
中国	979	800	+180	+22.5%
中国除くアジア	418	439	▲21	<b>▲4.7</b> %
その他	3	4	<b>1</b>	▲30.8%

[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

(単位:億円)



# 2020年度 4Qから現時点における取り組み

# > "i<sup>3</sup>-Mechatronics"のビジネスモデル確立

### → 開発力の強化

- ・安川テクノロジーセンタを本社地区に開所(2021年3月)
  - …要素技術から量産試作まで、生産技術を含めた
    - 一体開発を実現する技術集約拠点

#### → 販売力の強化

- ・ACサーボドライブΣ-Xシリーズを製品化し販売開始 (2021年3月)
  - …業界最高のモーション性能とデジタルデータンリューションでお客さまの付加価値を創造

# **プリステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化**

- → サステナビリティ方針を策定 (2021年3月)
  - ・社会的課題の解決による持続可能な社会の実現に取組む
- **→ 2050年カーボンニュートラル目標を設定** (2021年3月)
  - ・事業活動に伴うCO2<sup>※1</sup>排出量を2050年に実質ゼロ(カーボンニュートラル)へ
  - ・国内主要3事業所※2において100%再生可能エネルギー由来の電力導入を完了



安川テクノロジーセンタの外観



ACサーボドライブΣ-Xシリーズ

※1 二酸化炭素およびその他温室効果ガス(フロン等)を含む

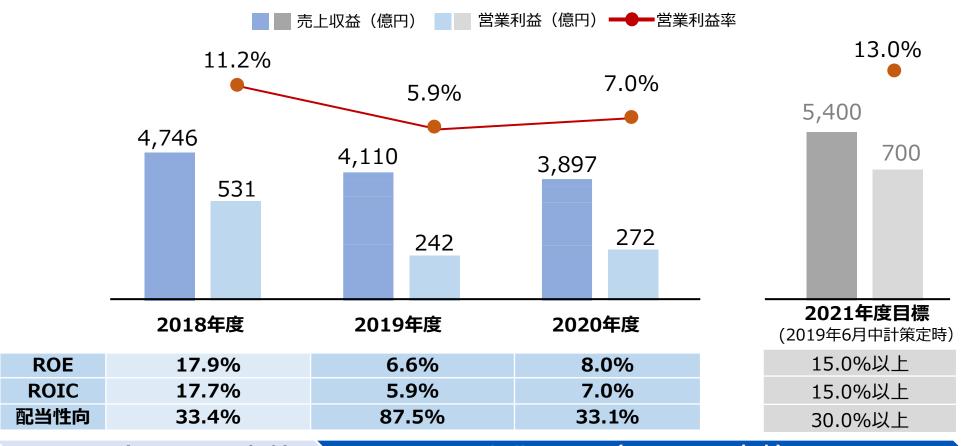
※2 八幡西事業所・中間事業所・小倉事業所

# **YASKAWA**

# 2.中期経営計画の進捗・見直し

# 中期経営計画「Challenge 25」の遂行状況

- ・米中貿易摩擦やコロナ感染拡大影響により、社会情勢/環境の前提が大きく変化
- ・当社を取り巻く市場環境も想定より大きく悪化



Dash 25 (2016-2018年度)

Challenge 25 (2019-2021年度)

注1. 2018年度~2020年度実績についてはIFRS基準を適用

注2. 2021年度目標はChallenge 25 外発時(2019年6月)における数値

# 中期経営計画「Challenge 25」の成果・課題

## 「Challenge 25」における成果

#### 中計進捗における経営課題

#### 基本方針1 i3-Mechatronicsによるビジネスモデル変革

- ・i<sup>3</sup>-Mechatronics CLUBの設立
- ・グループ再編によるサービス体制強化
- ・安川テクノロジーセンタの稼動
- ・ACサーボ、インバータ、統合コントローラ新製品投入
- ・IoTソリューション子会社アイキューブデジタル設立
- ・欧州スロベニア工場でのロボット生産開始

#### 基本方針2 拡大する"ロボティクス"ビジネスでの収益最大化

- ・ロボットのラインアップ拡充(人協働、スカラ、半導体等)
- ・市場別合弁パートナとの取り組み強化

#### 基本方針3 "選択と集中"によるリソース強化で新領域拡大

- ・システムエンジニアリング事業の再編実行
- ・太陽光パワーコンディショナ新製品の市場投入

#### 経営基盤の強化

- ・サステナビリティ方針の制定
- ・グローバルデーター元化と業務プロセス統合推進
- ・リモートワーク等のフレキシブルな働き方の導入

i<sup>3</sup>-Mechatronicsの 成功事例展開

モーションコントロール・ロボットの新製品拡販

環境エネルギー事業の 収益安定化

ICTを活用した生産性向上

# 「Challenge 25 Plus」の概要

- 「Challenge 25」の期間を1年延長し、「Challenge 25 Plus」として計画を見直す
- 収益性の向上を最重要目標に掲げ、営業利益率13%の実現を目指す

売上収益: 4,300億円

営業利益: 420億円

営業利益率:9.8%

売上収益: 4,700億円

営業利益: 610億円

営業利益率: 13.0%

(参考)

従来の中計21年度目標

売上収益: 5,400億円 営業利益: 700億円 営業利益率: 13.0%

2020年度 実績

3,897億円

2021年度 見通し

2022年度

2020年度実績為替レート 1米ドル=105.99円、1ユーロ=122.82円、1中国元=15.55円、1韓国ウォン=0.091円 2021年度・2022年度想定為替レート 1米ドル=110.00円、1ユーロ=130.00円、1中国元=16.80円、1韓国ウォン=0.096円

売上収益:

営業利益: 272億円

営業利益率:7.0%

# 「Challenge 25 Plus」基本方針

# サステナブルな社会の発展に寄与する事業の推進強化と YDXを通じた経営効率化により収益性改善を加速









オープンイノベーションを通じた新たな技術・事業領域の開拓

YDXを通じた経営基盤の強化

デジタル経営

働き方改革

# **YASKAWA**

# 3.2021年度 通期 連結業績見通し

## 2021年度 通期見通し(連結)

自動車や半導体・電子部品関連などの主要市場における 需要動向の着実な回復により、増収増益となる見通し

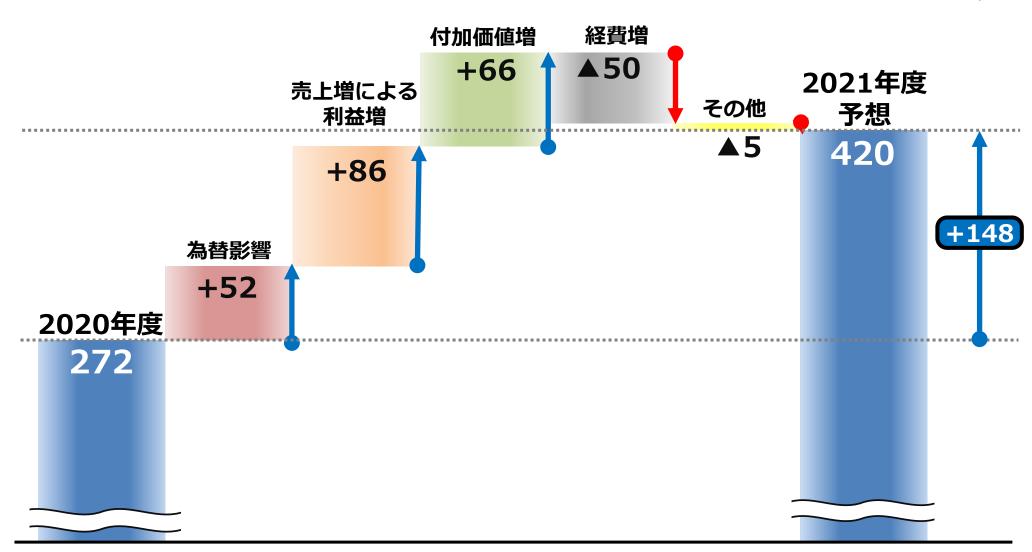
	2021年度	2020年度	前年度	比
	見通し	実績	増減額	増減率
売上収益	4,300億円	3,897億円	+403億円	+10.3%
営業利益	420億円	272億円	+148億円	+54.5%
税引前利益	433億円	272億円	+161億円	+59.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	317億円	189億円	+128億円	+67.5%

# 2021年度 通期見通し(セグメント別)

		2021年度		2020年度		前角	度比
	(単位:億円)	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上	収 益	4,300		3,897		+403	+10.3%
	モーションコントロール	1,990		1,760		+230	+13.1%
	ロボット	1,600		1,395		+205	+14.7%
	システムエンジニアリング	510		508		+2	+0.5%
	その他	200		234		<b>▲</b> 34	<b>▲14.7%</b>
営業	利 益	420	9.8%	272	7.0%	+148	+54.5%
	モーションコントロール	331	16.6%	246	14.0%	+85	+34.7%
	ロボット	117	7.3%	69	5.0%	+48	+69.4%
	システムエンジニアリング	15	2.9%	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 2.0%	+25	-
	その他	0	0.0%	3	1.3%	<b>▲</b> 3	-
	消去または全社	<b>▲43</b>	-	<b>▲</b> 36	-	<b>▲</b> 7	-

# 営業利益増減要因分析(2020年度 → 2021年度予想)

(単位:億円)



### 2021年度における取り組み

# ▶ "i<sup>3</sup>-Mechatronics"のビジネスモデル確立

#### 開発力の強化

- · 安川テクノロジーセンタの有効活用によるタイムリーな技術開発の実現
- ・"i<sup>3</sup>-Mechatronics"の中核となる**YRMコントローラ**の市場投入

#### 販売力の強化

- ・「3 C 」「ニューインフラ」「自動車」「半導体」など**成長市場**における"i<sup>3</sup>-Mechatronics"の推進
- ・ACサーボドライブ**Σ-Xシリーズ**のラインアップ拡充による販売活動の本格化
- ・技術・販売・サービス部門が一体となったIT活用によるサービスビジネスの収益拡大

#### 生産力の強化

- ・"安川ソリューションファクトリ"コンセプトの海外生産拠点への展開加速
- ・ロボットにおける**グローバル生産能力**のバランス最適化

# ▶ "デジタル経営"による経営基盤の強化

#### YDXプロジェクト※の推進

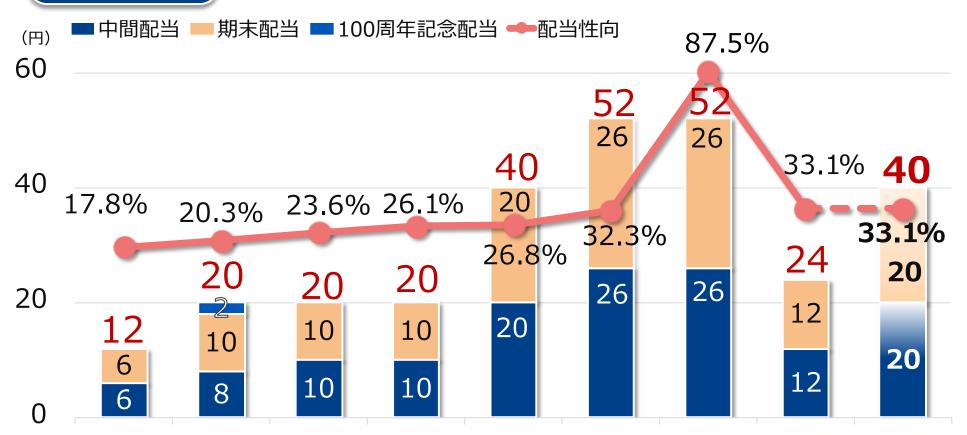
- 販売・生産・技術のグローバルデーター元化による経営情報の見える化加速
- ・グローバルに収集された**市場品質情報を製品開発にフィードバック**する体制の構築

※YASKAWA Digital Transformationの略

### 株主還元 (配当金推移)

# ・2021年度は前年度から16円増配となる年間40円/株の配当を予定

#### 配当金推移



2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 (予定)

# **YASKAWA**

# 4. 参考資料

# IFRS・セグメント区分の見直しなどによる過年度の組替表示

		F 及 地 网		
	日本基準	IFRS	セグメント	IFRS
(単位:億円)		組替影響	組替影響	(セグメント組替後)
売上高 , 売上収益	4,110	-	-	4,110
モーションコントロール	1,779	-	+26	1,804
ロボット	1,522	-	-	1,522
システムエンジニアリング	581	-	<b>▲2</b> 6	555
その他	228	-	-	228
営 業 利 益	223	+19	-	242
モーションコントロール	187	+5	+13	206
ロボット	55	+1	+9	65
システムエンジニアリング	2	+7	<b>▲</b> 5	5
その他	▲3	+2	-	▲0
消去または全社	▲18	+2	<b>▲17</b>	▲33
親会社株主に帰属する当期純利益,	144	+11		150
親会社の所有者に帰属する当期利益	144	711	-	156

2019年度 通期

# 設備投資・研究開発費,為替レート,感応度

#### 設備投資・研究開発費の状況

(単位:億円)

	2019年度(実績)	2020年度(実績)	2021年度(計画)
設備投資額	254.7	227.9	250.0
減価償却費	167.5	160.9	170.0
研究開発投資	190.0	178.5	180.0

#### 為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位:円)

	2019年度(実績)		2020年度(実績)			2021年度(想定)	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
対 米ドル	109.2	108.8	109.0	105.2	104.7	106.0	110.0
対 ユーロ	122.6	120.1	121.4	124.0	125.3	122.8	130.0
対元	15.91	15.48	15.70	15.23	15.87	15.55	16.80
対 ウォン	0.093	0.092	0.093	0.089	0.093	0.091	0.096

#### 為替感応度

(単位:億円)

	1%変動による影響額 (2020年度_通期)					
	売 上 収 益 営 業 利 益					
米ドル	約 6.9	約 1.5				
ユーロ	約 5.6	約 0.7				
元	約 9.4	約 3.0				
ウォン	約 2.0	約 1.3				

## B/S構造の推移

#### 2020年2月29日時点

50.7% 親会社所有者帰属持分比率 ▶ 親会社所有者帰属持分 2,284億円 ▶ 有利子負債 816億円 ➤ D/Eレシオ 0.36 (ネットD/Eレシオ) 0.18 ▶ 棚卸資産 1,020億円

(回転月数) (3.0ヶ月) ➤ ROE 6.6%

> ROIC 5.9%

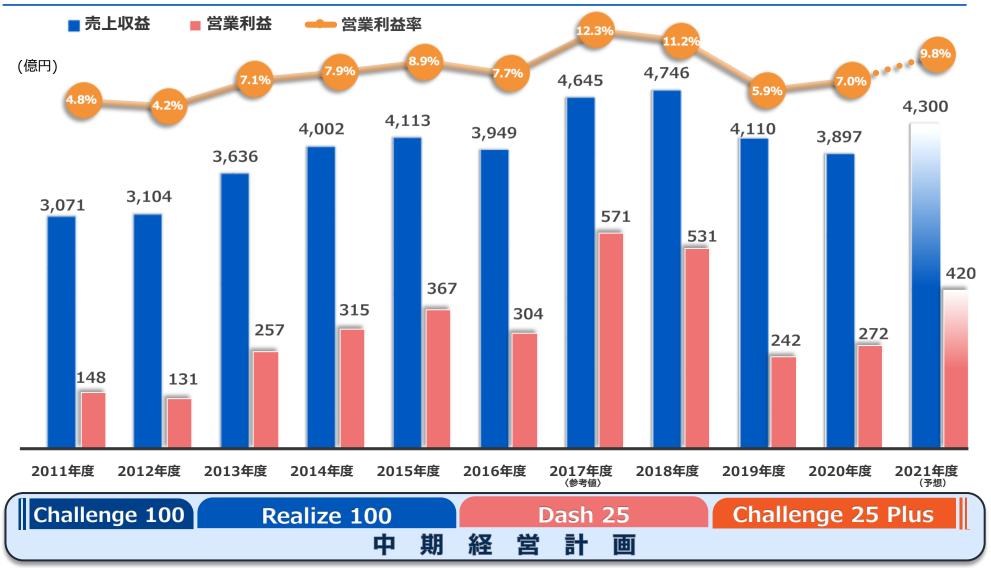
#### 2021年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 50.5%
- 親会社所有者帰属持分 2,463億円
- ▶ 有利子負債 765億円 ▶ D/Eレシオ 0.31
- (ネットD/Eレシオ) 0.10
- ▶ 棚卸資産 1,015億円
- (回転月数) (3.1ヶ月) ➤ ROE 8.0%
- > ROIC 7.0%
- ※ 有利子負債はリース債務を含む
- ※ 棚卸資産回転月数の計算には 棚卸資産の期末値を使用
- ※ ROE
  - =親会社株主に帰属する 当期純利益÷((前期末自己資本 +当期末自己資本)÷2)
- **X ROIC** 
  - =親会社株主に帰属する 当期純利益÷投下資本



[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載しています

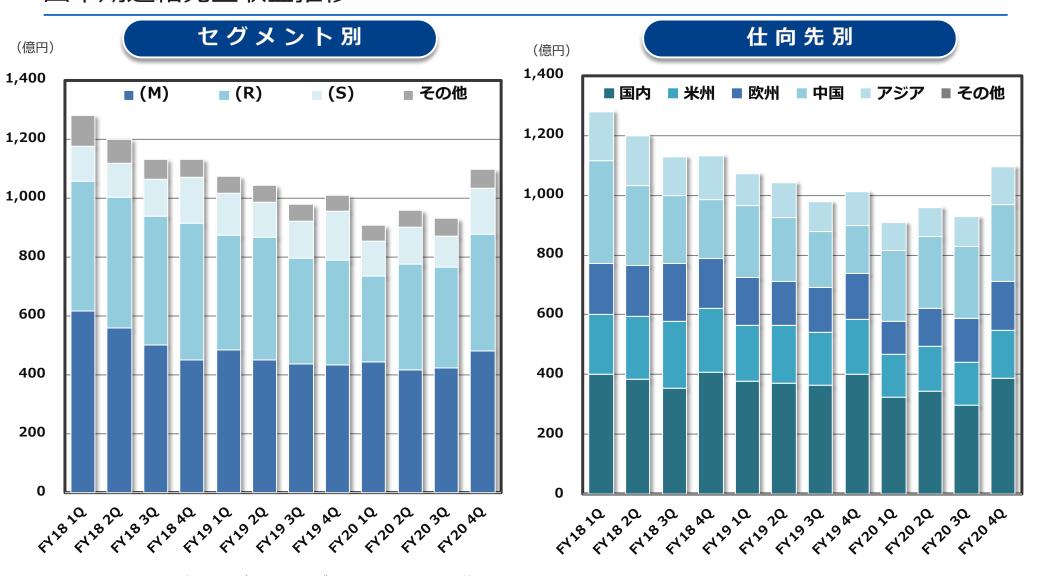
# 連結売上収益・営業利益推移(2011年度~2021年度予想)



[注1.] 2017年度までのデータは日本基準にて記載しています

[注2.] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日~2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

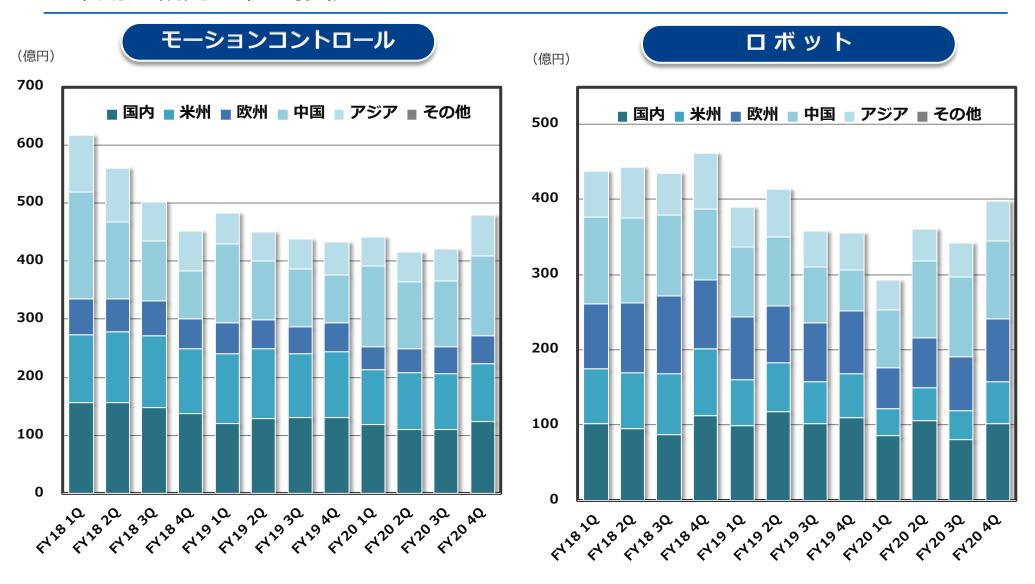
## 四半期連結売上収益推移



[注.1] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

[注.2] 表記: (M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

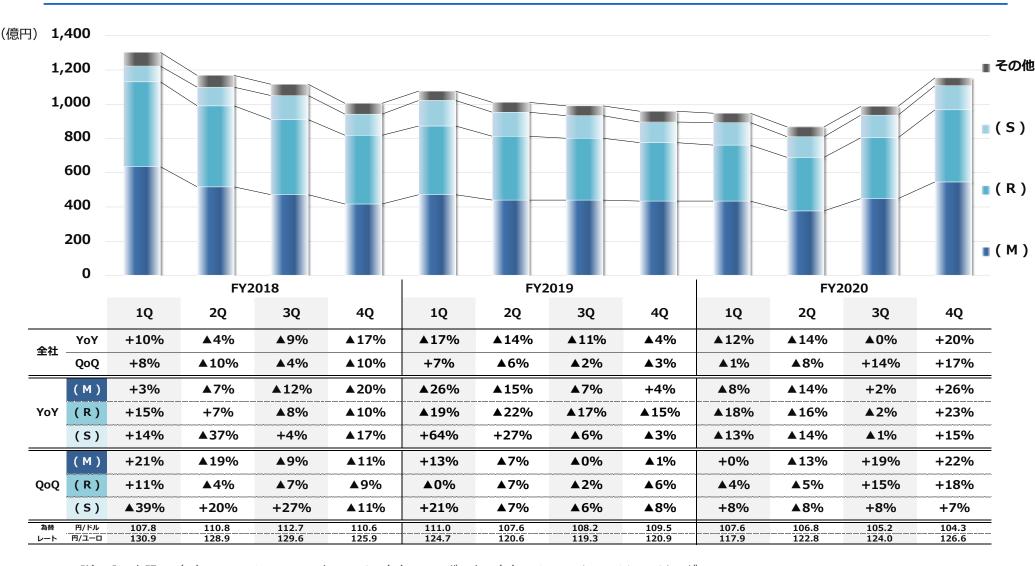
### 四半期連結売上収益推移



[注] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

## 四半期連結受注推移(セグメント別)

#### ※為替は期中平均レートを使用

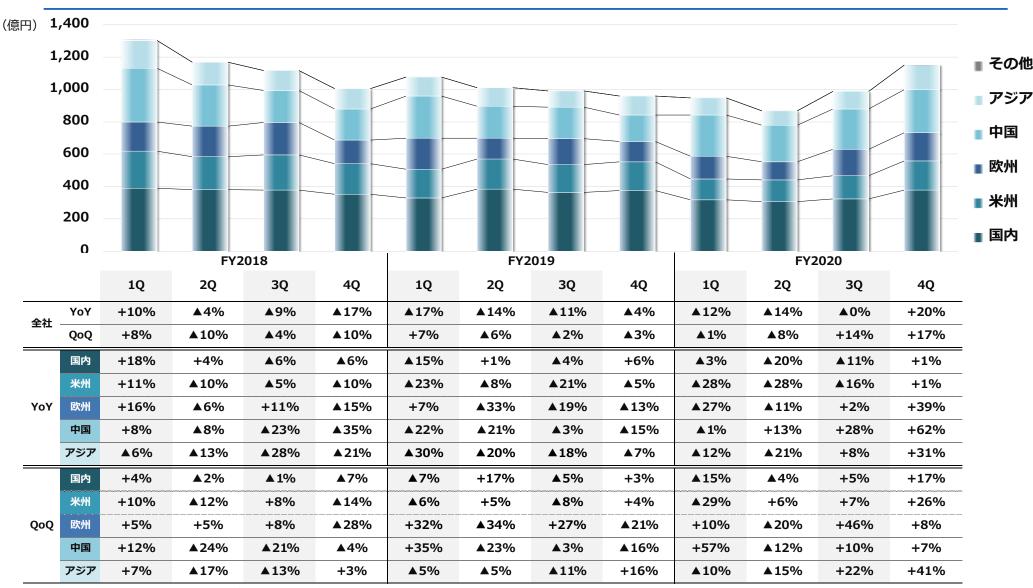


[注.1] 表記: (M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用

## 四半期連結受注推移(仕向先別)

#### ※為替は期中平均レートを使用



[注] FY19およびFY20のデータは、セグメント区分変更後の数値を使用



アジア

中国

## グローバル生産拠点



YASKAWA Electric UK Ltd.

スコットランド



安川電機(瀋陽)有限公司

中国



スウェーデン 安川首鋼ロボット有限公司

中国

**YASKAWA India** Private Ltd. Robotics 部門

インド



株式会社 安川電機

And wastell life

YASKAWA America, Inc. Drives&Motion 部門

アメリカ

YASKAWA Canada, Ltd. カナダ

**YASKAWA Europe GmbH** Robotics 部門 ドイツ



YASKAWA India Private Ltd. インド

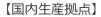
YASKAWA Europe Robotics d.o.o.

スロベニア



上海安川電動機器有限公司

中国



- ・八幡西事業所(安川ロボットセンタ)
- ·八幡東事業所
- ・行橋事業所(ドライブセンタ/ システムエンシ ニアリンク センタ)
- 入間事業所(ソリューションセンタ)

·中間工場

YASKAWA Mexico, S.A. de C.V.

メキシコ



YASKAWA America, Inc. Motoman Robotics 部門

アメリカ



安川(中国) 機器人有限公司

- 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点

YASKAWA Elétrico do Brasil Ltda. Motoman Robotica do Brasil

ブラジル

# YASKAWA